

泥棒よりも悪いことをする人

無論、東條英機のことではない。(よく知られた話で、東條の孫息子が小学校に通うようになったとき、女教師が言った言葉、「東條君のおじいさんは泥棒よりも悪いことをした人です。」息子は泣いて帰った。

よくまあ、そんなことを言うなあ。では自分はどうなんだ。戦時中には、早く戦争を始めろ、弱虫！と罵った連中のひとりだろうが。そういうのを「変節漢」と呼ぶ。どこかの都知事のように、権力者にすり寄ってそのおこぼれに与ろうとするのを日本人はあまり嫌わないようだが、ボクは大嫌いだ。その手の連中をいやというほど見てきたからな。またこいつら、権力者を見極める目が確かやねん。今回はたまたま安倍さんを読み損なったから、都に鞍替えしただけやんか。いずれ無能を曝露して失脚するだろう。

それはともかく、

銀行の話である。預金をいくらかおろすつもりで行った。同時に通帳の整理も頼んだ。わずか3冊やで。・・・待たせるのは彼らの中では、ごく当然のことである。忸怩たる思いを抱くこともない。・・・それでも黙っていた。次に窓口にててきたのは、また違う人間だ。で、持ってきた額を見て、さらに通帳の間違い(要するにこちらの要求と明らかに異なっている)。ここで切れた。2つしか頼んでへんののに2つともできていない。机を叩きながら、「いっつもこちらの要求していたことが伝わっていない。「課長を呼べ！」・・・ころころ窓口係を変えるな！もう一度こちらの要求を見直せ！・・・さっきからゆうてるやろ、俺は急いでんねん。すんなり進んでいたら、もう帰ることができてそれでもぎりぎりやねんから。

ほんまに愚図でのろまで、仕事をさせればいい加減。・・・怒りゃふくれる、どつきや泣く、・・・までは言わなかったけど、現実にはふくれとったやないか。銀行の姿勢は20年以上前といっつも変わってへん！おまえら懲りてへんねんな。では何のために生き残りのための合併をしてきたのか。

みんな銀行に頭を下げてお願いするから、勘違いしよんねん。そんなもん、たとえ少額であろうと、預金するということは、「銀行に金を貸してやってるねん」、借りるときでも、「借りたってんねん」それで利息を払って、その利息で銀行は儲けるねんやろが。・・・ようやく4人目が出てきてこちらの指示どおりになったのだが、この間、再度こちらの要求をたしかめたわけではない。つまりは、ころころ人が変わるから、伝言が伝わっていかないだけの話。それなら、同じ人間がずっと対処すればいいだけのことではないか。・・・初めに要求を伝えた窓口係がすぐ隣にいてなにやら説明している。しかしオレの方を見ないようにし、当然ながら「ご迷惑をおかけして・・・」という一言もない。お前のお蔭で時間はつぶされるし、こちらは急いでるねん、ということも理解していない。チンタラチンタラ仕事をしているふりをしとおる。

で、次の係が来て、こちらの要求を聞くまでもなく処理した。では、2番目か3番目かに来た窓口係は、どのように理解したのだろうか。そんな理解力の悪いのんを窓口に置いとくな！

泥棒は家まで盗んでいかない。火事でも土地は残る。銀行は、言葉巧みに借金させて、家屋敷も土地も奪っていきよる。どれが一番悪いと思いますか？

2017.03.06.

同じ銀行の枚方支店でも、通帳1冊新規につくるのに、本人が来ないとできない、などという。それがルールならそうしようと、本人が超多忙の中顔をだした。ところが、なかなか通帳ができない。およそ3~4時間もかかって、ようやくできる。「最初の窓口係を読んでくれ！」といっても「フン！」てなもんや。

おまえら勘違いしているのと違うか？たとえ少額でも数が増えれば大きな契約にもつながるのに、たかが銀行屋。仕事をさせていただいている、という姿勢を忘れている。門田隆将の「リーダーの本義」高島コーチの遺訓を読んでみる！

客に感謝する心がない。